

目標達成計画

事業所名：グループホーム陽だまり

作成日：平成 31年 4月25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるような、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	1(1)	朝礼によって、理念そのものについて伝わり始めているが、より細かい文言や、本質についての伝達も引き続き行うことで、実践に繋げていく事を期待したい。	全職員が理念を意識して業務を実施できる。	基本理念だけでなく、認知症介護の10のポイントを復唱することで日頃の自分たちの介護の振り返りを行う。ユニット会議の際に具体的に入居者の「その人らしさ」をテーマにグループ討議を行う。	6 か月	
2	4(3)	近隣の他事業所との運営推進会議の相互参加が以前は出来ていたが、最近では出来ていないので改めて取り組みの検討に期待したい。行事との同日開催や、食事会のような形式など、運営についても時には変化があってもよいのではないだろうか。	町内の地域密着型施設の運営推進会議に相互参加できるように働きかける。現在の運営推進会議の参加メンバーの追加や運営について意見を徴収して変化のある内容にしていく。	町内の地域密着型施設で行われている運営推進会議に相互参加できるように校区の地域密着型事業所意見交換会に働きかける。現在の運営推進会議のメンバーの追加を地域の民生員会議に相談して頂く。また食事会や行事等の案内を企画する。	12 か月	
3	8(6)	対応が検討されるケースについて、リーガルサポートなど司法相談を含めた外部の相談機関を、役所や包括なども交えながら探されてもよいのではないだろうか。	成年後見人制度が活用できるように、困難事例にも対応できる機関や人の相談窓口を増やしていく。	権利擁護や成年後見制度についてリーガルサポートについての勉強会に参加する。困難ケースについては役所や成年後見センター等に相談する。	8 か月	
4	10(7)	意見箱の活用について、事前に用紙を全員に渡しておくことで、気軽に投函できるようにしたり、家族会の開催についてもやり方などを検討されて、より活発的でオープンな話し合いの場になっていくことに期待したい。	家族会の参加割合を増やし、介護サービスの質の向上につながるような意見の出やすい環境をつくる。	家族会に向けて施設への意見が出やすい環境とするためのアンケート調査を行う。外部講師による終活セミナーや権利擁護などの勉強会を開催する。	12 か月	
5	28(13)	担当制を更に進め、アセスメントなどの管理についても職員が携われるよう、スキルアップに努められることに期待したい。担当者会議への家族や本人の参加がまちまちであるため、年に1回かもしくは介護更新時などは直接意見ももらえるように参加を促してもよいのではないだろうか。	担当者は身の回りの世話だけではなくアセスメントの収集など介護計画に係るところまでできるようになる。年に一度は家族を交えた担当者会議を開く。	担当職員にアセスメントのスキルアップの為の教育を実施する。せめて長期計画の変更時には家族にも担当者会議へ参加して頂けるように依頼していく。	12 か月	
6	38(17)	現任者に対しても改めて、接遇やマナーについての学習機会をもったり、話し合いの場として注意喚起を行っていく事が望まれる。	現任者に対して接遇やマナーについて学ぶ機会を設けて実践していく。	社内全体で外部講師を招いた接遇やマナーの勉強会の開催	6 か月	
7	45(19)	排泄チェックについて、24時間、1週間単位などでの時系列での傾向が分かる様式にすることで、パット汚染やトイレ誘導のタイミングを改めて見直し、排泄の自立支援につながるような取り組みを検討されてはどうか。	個別の排泄パターンに応じた介助を行うことで、無駄なパット交換を減らし、自立支援を進めていく。	排泄チェック用紙の様式の改良	6 か月	
8	51(21)	今後はもう少し外出機会を増やしていきたいと考えているが、家族や地域ボランティアの協力なども視野にいれながら、徐々に取り組みがなされていくことに期待したい。	家族にも働きかけて個別にも外出の機会を増やす。また屋外での行事を増やす。	家族会への外出支援の協力依頼をする。公用車を1台増やして一度に外出できるような取り組みを行う。	3 か月	

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		実施段階	取り組んだ内容 (↓該当するものすべてに○印)
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(予定である)
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()